

公立病院の 看護職員と医療従事者を増やして!

県民のみなさん、私たちは県立病院・福祉施設の看護職員と医療従事者を増やしていただくために運動しています。みなさんの温かいご支援とご協力をお願いします。

栃木県立がんセンターは、2000年に200床から357床に増床しようとしています。

栃木県身障センターは、2001年に総合リハビリセンターに衣がえしようとしています。

栃木県岡本台病院は、県内の精神科救急医療の拠点としての機能を担おうとしています。

私たち、県立病院・福祉施設ではたらくものは、がん医療、リハビリテーション医療、精神医療の中核を担う自覚をもって、栃木県民のニーズに十分応えられる施設にしたいと願っています。

しかし、次のページにご紹介するように、私たちは、医療従事者の数が少ないばかりに、自らの健康や生活に支障が生じたり、ひいては患者さんに十分なお世話ができないこともままあります。患者さん・障害者本位の治療とリハビリを行うためにも十分な人員が必要なのです。

県民のみなさん、私たちの運動にご協力を重ねてお願いいたします。

私たちは県立病院・福祉施設にはたらく者の労働組合です。

栃木県職員労働組合
栃木県職員労働組合病院職能協議会

宇都宮市塙田1丁目1-20 県庁内

TEL. 028-623-2540

3人の看護婦と2人の保母で、朝7時から肢体不自由児の食事介助。27人のほとんどが自分で食事を取ることができず、中にはきちんと飲み込むことさえままならない子どももいます。そんな子どもたちが一人の職員のみわりに3人。ほかの子どもは待っています。大急ぎで食べさせて、おむつ交換。8時半の登校が精一杯。重症者や風邪ひきがいてと間に合いません。「どうしてそんなに急いでいるの?」話のできない子どもが言っているようです。

(身障センター、病棟看護婦)

手術室の1週間

11月3日、文化の日。前日手術した患者さんの出血が止まらなくて、緊急手術で出勤です。比較的簡単な手術でも片づくまでかめて4〜5時間かかります。

11月4日。10時間手術がありました。遅番で10時出勤。夕方6時45分まで勤務のところ、夜中の10時に手術は終了。12時に片づけが終り、さあ遅い夕食を食べようかというときに、緊急の手術を頼られました。麻酔科の先生が到着するまでの10分間で夕食をかき込み、病院を出たのは明け方3時でした。


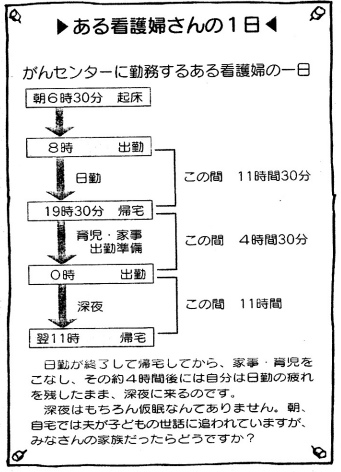
11月5日。たまたま手術数が少なかったので午前中休んで休みました。手術室の年休は毎年6日くらいですが、こんなお休みばかりです。

11月6日。手術が5件、さらに臨時手術が入りました。午後5時に加刀、結局夜中の11時に帰りました。というのも、土・日曜日に手術が入ってもいいように、すべて洗浄をすませてセットを組まないと帰れないからです。

(がんセンター、手術室看護婦)

わたしたちの願い!

公立病院の看護職員と医療従事者をもっと増やして!!

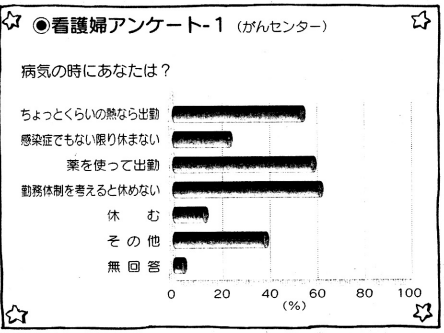
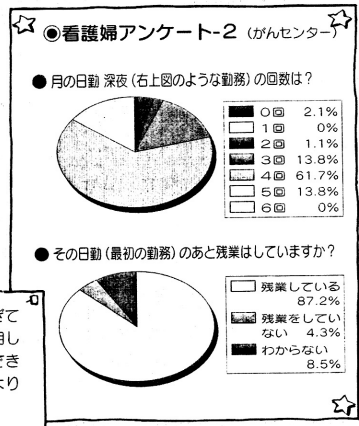
休みを取りたい!!

私の病棟で今年4人が妊娠しましたが、うち3人が切迫流産。残る1人もつわりで、1か月ずつ休みました。産休前なので補充もなく、残った看護婦がその仕事をしました。

(がんセンター、病棟看護婦)

このままの病棟の勤務状態が続くのであれば、家庭が壊れる前にやめます。辞めざるを得ません。夜勤をやるのが問題なのではなくて、トイレもままならない重症患者さんが30%もいるがんセンターの夜勤の負担を知ってほしいし、体調を整えながら働ける職場にしてほしいのです。誰かが過労で死ぬか、誰かが倒れるかしないと分からないのでしょうか。

(がんセンター、外来看護婦)



ゆとりある看護を!!

一人でも休むと、日勤者が減り、他の人の負担がかかり過ぎてしまいます。いきおい、体調を崩してもあったけの薬を服用して無理して動いてしまうことがあります。休みが出ても対処できるだけの人数が必要です。看護婦が心身共に元気でなければよい看護ができないのでは。

(がんセンター、病棟看護婦)

重傷患者さんが30%ですから、夜勤の急変があります。点滴、静脈注射など様々な救急処置の間、その患者さんのところを離れることができません。しかも、1人に3〜4時間もかかりますし、もう一人の看護婦も担当の20人を見ているので精一杯です。私の担当の残り19人は……。夜勤の3人は絶対に必要です。

(がんセンター、病棟看護婦)

栄養管理課では、ひとりの栄養士が2週間ごとに5種類の献立をたてるほか、普通の献立では食べられない患者さんには特別の献立を考えます。仕事を持ち帰るのはいつものこと。「食欲はないけど何か食べたい患者さんの話を聞いてあげて下さい」と看護婦さん。点滴から、食事をとれるようになった患者さんの喜び。食べることで患者さんは元気になります。今の職員数では、退院時の栄養指導も間に合わず、退院後に来ていただくこともしばしばです。

(がんセンター、管理栄養士)

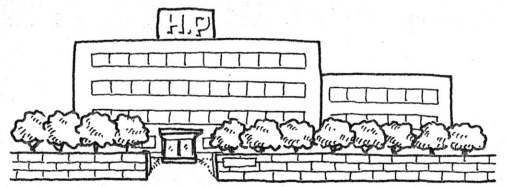
看護婦だって生身の人間だ!! 風邪をひいたら安心して休みたい!!

●自治労掲示板●

自治労栃木県本部
028-622-6225

栃木県職員労働組合
028-623-2540

私たちの職場は こんな職場です



■栃木県立がんセンター概要

●診療科目

内科、呼吸器科、血液内科、外科、
婦人科、泌尿器科、頭頸科、脳神経
外科、整形外科、放射線治療

●6階建

●病床数 200床

◆宇都宮市陽南4丁目◆

がんセンターは、がんとたたかう患者さん
を支援する病院です。がん患者さんは、肉
体的な苦痛だけでなく、多くの精神的な不
安をかかえています。

私たちは、きめ細やかなケアをとおして、患
者さんの精神的な支えにもなりたいと、日
々努力しています。

■栃木県身体障害医療福祉センター概要

●業務の内容

肢体不自由児施設、肢体不自由者更生
施設、重度身体障害者更生援護施設、
更生医療病床、身体障害者更生相談所、
重度心身障害者通所事業

●定員 297人(床)

◆宇都宮市若草1丁目◆

身障センターでは、医療技術者と福祉の
専門家がチームを組んで、からだの不自由
な子どもたちのリハビリと生活の支援をし
ています。たとえば、3度の食事にも、1対1
でいねいな介助をめざしています。

また、おとなの障害者の方々のリハビリや
社会復帰に向けた相談と訓練もしてい
ます。

■栃木県岡本台病院概要

●診療科目

精神科、神経科、内科、放射線科、
歯科

●2階建

●病床数 255床

◆河内町下岡本◆

岡本台病院は、宇都宮病院の問題を解
決すべく、民間精神病院での処遇が難し
い患者さん、自傷他害のおそれのある患者
さんの急性期の治療を担っています。

また、県内唯一のアルコールセンターとし
てもがんばっています。